

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こっしーらんど			
○保護者評価実施期間	2025年1月5日		～	2025年1月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年1月5日		～	2025年1月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団行動をとれることを目的としており、集団活動への参加を中心とした個別支援計画を作成し、職員が共通認識のもとで支援を行っている。	・オンライン上で個別支援計画が閲覧・共有ができるようにし、必要に応じて職員間で情報交換を行っている ・支援計画とプロンプトや内容がリンクする形のケース記録を作成し、支援の検証・改善がしやすくしている。 ・必ず支援前に打ち合わせを行い、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。 ・フォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントを基に、集団適応行動や認知・言語の評価を行い、個別支援計画を作成している。	・抗重力伸展運動を活動に加えていく。 ・外出の機会と新しい外出先を増やす。
2	家庭と連携した、愛着行動の形成への支援を行っている。	・保護者との連携のため、家庭やデイで記入するノートを活用し、人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する支援を行っている。	定期的に保護者と連携を取り、実施後フィードバックを行い、次の計画に取り入れる。
3	年間計画の基、支援の質の向上のための研修、避難訓練などの非常時対応研修を行っている。また、おやこっしー（保護者参加型の研修）や避難訓練には保護者も参加できる形式で行っている。	・おやこっしーでは、保護者同士も交流できるように、グループ分けやワークの構成を工夫し取り組んでいる。 ・避難訓練には、訓練内容に応じて保護者も関われるよう工夫し、事業所の対応を共有できるように工夫している。 ・避難訓練後はフィードバックを行い、改善点から今後の対応策を検討し、今後の訓練に生かしている。	・面談時に研修への参加を伝え効果があったため、更に研修が療育につながることの重要性を説明し、参加者の増加を目指す。 ・進路や卒後についてをテーマにしたおやこっしーの実施を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が乏しい。	・年3～4回地域交流のプログラムを設けているが、交流先が固定化されている。 ・地域の代表に参加できる行事等の情報を収集しているが、日曜日に開催されることが多く、参加できるタイミングがない。 ・SNSの発信がFacebookのみになっている	・地域にある他の放課後等デイサービス事業所と交流を図り、協力体制を整える。 ・地域交流で行く場所が固定化しないよう、新しい所にも訪問しこっしーらんどを知ってもらおう。 ・Instagramを開設して、情報を発信する。
2	平日のプログラムが固定化されている。	プログラムの内容に変化が少なく、モチベーションが上がりづらい状況にある。	・抗重力伸展活動を取り入れた、新しい粗大運動プログラムの導入する。 ・音楽や体を動かす活動のバリエーションを増やし、利用者が楽しめるプログラム内容となるよう工夫する。
3			